

全日本病院協会
プライマリ・ケア宣言 2013

【全日本病院協会の理念】

全日本病院協会（全日病）は、関係者との信頼関係に基づいて、病院経営の質の向上に努め、良質、効率的かつ組織的な医療の提供を通して、社会の健康および福祉の増進を図ることを使命とする。

全日本病院協会は、上記理念に則り、これまで『医療は、患者（国民）と医療人が協力して整備を図るべき公共財であり、国民の健康・生活に直接関係する点で極めて重要である。』との認識のもとで、医療関係者ばかりではなく、患者、家族、地域住民などのすべてのステークホルダーとの協働を図ってきた。

2013年、われわれは、プライマリ・ケアの重要性を認識し、新たな行動目標として以下を宣言する。

1. 在宅医療・介護対応宣言

全日本病院協会は、少子・高齢・人口減社会の医療・介護のあり方を直視し、すべての会員施設が地域におけるそれぞれの役割を確認し、診療所をはじめ医療・介護・福祉施設との連携を進め、さらなる在宅医療・介護の充実に協働することを宣言します。

2. 認知症対応宣言

全日本病院協会は、国民的な課題である「認知症」に、個別的に、かつ包括的に対応ができるよう、さまざまな具体的方策を提言・実行することを宣言します。

平成 25 年 8 月 7 日
公益社団法人 全日本病院協会